



お気に入りの文庫本をハードカバーの本にしてみよう！

ルリユール(装丁)入門

- ・日 時: 6月18日(土)午後1時30分～3時30分
- ・講 師: 美術家 若月 陽子 先生
- ・会 場: 人の森ハウス(一宮市北園通 3-20)
- ・参加費: 2,500 円(材料費を含む)
- ・定 員: 10 名
- ・持ち物: 文庫本(幅1cm前後)・カッターナイフ・はさみ
定規(できれば金属の)・あればカッターマット
(なくても予備があるので大丈夫です)

※装丁に使う布は用意されたものから選んでいただきます。



製本の基本を学びながら、古くなった文庫本の表紙を取り換えて、ハードカバーの素敵な本にしてみませんか？

今回は木口木版画の作家として著名な若月陽子さんをお迎えし、製本入門講座を行います。0から本格的にやると半日ではできない工程を、講師の方に、事前にいろいろ準備をしていただくことで、約2時間で仕上がります。

ルリユール relieur とは、「もう一度〈糸で綴じる〉」という意味のフランス語で、劣化した書物の綴じ直しや、仮綴じ本の装丁をする技術、または職人のことを指します。大切な本を修理しながら持ち続ける文化っていいですね。こうした本の装丁は近年、クラフトとしても注目されているそうです。

若月 陽子先生プロフィール

1981・名古屋造形短期大学専攻科 修了
2011・「山本鼎トリエンナーレ」優秀賞、上田市山本鼎記念館(長野)
2016・「鹿沼市川上澄生木版画展」川上澄生特別賞 鹿沼市立川上澄生美術館(栃木)
・春艸会会員・一宮作家協会会員

人の森ハウスの場所です。
駐車場は建物の東側に
10台分あります。



◆お問合せ・お申込み いちのみや大学事務局へ以下のいずれかの方法でお申込みください

- ①ホームページから <http://ichinomiyaigaiku.com/koza/109.html>
- ②メール info@ichinomiyaigaiku.com
- ③電話: 080-4227-8641(平日 10:00～17:00) / FAX:0586-72-5445(電話は平日 10:00～17:00)

◆いちのみや大学とは

いちのみや大学は、一宮周辺で様々な分野の知識を持つ人に講師をお願いし、一宮の地域資源を生かし、一宮の街の様々な場所を教室に、ともに豊かに学んでいこうという生涯学習の市民活動です。

◆これからの講座の予定は？

日時	曜日	場所	講師	内容
6月11日 (土) 10:00～	土	i-ビル3階 市民活動支援 センター会議室	元一宮市立北方中学校校長 田中 豊先生	訪ねてみませんか？一宮の史跡 (その3) 受講料 500円
7月2日 (土) 14:00～	土	i-ビル3階 市民活動支援 センター会議室	作家 鳴海 風先生	日本独自の数学文化 江戸の「和算」は世界水準！ 受講料 500円

これまでに開催した講座： シャンソン、アフリカの音楽、ヴァイオリンについて、古典落語、アートについて、紙のデザイン、洞窟探検の魅力、韓国料理、日本茶、おから味噌、うすずみ桜と真清田神社のなぞ、織田信長のこと、美濃路・起宿について、船橋楽器資料館、一宮のプラネタリウム、葛利毛織、妙興寺、尾西繊維協会ビル等の見学など

(有)人の森で 自費出版のお手伝いします



人の森で出版した本の例です。

四六判 200冊

ハードカバー オリジナルカバー付き
本文モノクロ 420頁 本文データ入稿・レイアウト・編集・
オリジナル装丁・イラスト作成
カラー写真ページ2頁入り

人の森では、皆様がこれまでに書きためていた郷土史や、エッセイ、自伝などの文章を本にするお手伝いをしています。ご希望があれば、JANコードをつけて大手通販サイト「Amazon」での販売もサポートすることができます。

一番シンプルな、文章中心で本文モノクロ・200ページのソフトカバーの本の場合、本文はワードなどのデータで入稿・簡単なレイアウト・簡易編集・シンプルな装丁デザインで、100冊印刷すると、印刷代、編集代、表紙などのデザイン料も含めて約30万円～で作れます。

本格的なハードカバーで、カバーもつけた本を文章中心で本文モノクロ・200ページ、本文データ入稿・簡単なレイアウト・簡易編集・シンプルな装丁デザインで100冊作った場合は、約40万円～です。

興味があれば、お気軽にお問合せください。

お問い合わせは下記へ

有限会社人の森 〒491-0854 一宮市北園通3丁目20番地
tel&fax: 0586-72-5445(受付時間 電話は平日 10:00～17:00)
mail: info@hitonomori.com